

# 航路維持活性化の目標と計画策定の基本方針

## 航路維持活性化の目標

総旅客人員 年間35万人(H21年実績)の維持

## 計画策定の基本方針

今後の航路に対する支援のあり方とその根拠を明確にするため、次の基本方針のもと各種調査を実施し、今後の方策を検討する。

主たる利用目的である「観光利用」において効果の高いと思われる活性化支援策と情報発信策、航路への誘導策を調査・検討する。

本航路が利用者に愛され、繰り返し利用していただけるよう、施設や船舶の快適性向上方策を調査・検討する。

東三河地域と伊勢志摩地域の交流への活用策、及び他交通機関との連携強化策を調査・検討する。

# 調査案

## ①旅客及び貨物の利用実態に関する調査

### 調査の目的

下記②～⑥の各調査を進めるうえで必要となる航路利用者及び貨物についての基礎データを収集・分析する。

### 調査手法

利用者アンケートにより、航路利用者の属性、利用時間帯、曜日別に、起終点やフェリー乗船前後の交通手段を把握する。貨物についても、起終点、流動量、フェリー選択理由等を調査・分析する。

## ②潜在需要の開拓と旅行商品化に関する調査

### 調査の目的

航路未利用者の潜在需用を調査・分析し、観光振興にかかる他の事業との連携を十分に図りながら、地域の魅力を伝え、航路活性化つながる旅行商品化の検討を行なう。

### 調査手法

ヤフー等に登録しているモニターに対するウェブアンケートと、旅行業者へのヒアリングによる。ウェブアンケートについては、東三河～静岡と三重県内在住者を想定しているが、ご意見を伺いたい。

## ③航路情報の発信及び誘導強化に関する調査

### 調査の目的

航路の認知度向上、誘導強化を図るために有効な情報発信方策と案内方策を検討する。

### 調査手法

上記ウェブアンケートへの質問項目設定、現地調査、事例調査等の組合せによる。

# 調査案

## ④航路の快適性向上に関する調査

### 調査の目的

利用者の利便性と航路の魅力向上に資するため、施設・船舶の基盤整備や船旅の効果的な演出のあり方について検討を行なう。

### 調査手法

ウェブアンケートへの質問項目設定、現地調査、事例調査及び本年度田原市が実施している洋上コンサートに関するアンケート調査等の組み合わせによる。

## ⑤地域間交流の促進方策に関する調査

### 調査の目的

東三河地域と伊勢志摩地域間の交流促進を促す航路運航のあり方について検討を行なう。

### 調査手法

本年度鳥羽市が実施している航路利用促進事業アンケート調査の分析や事例調査による。

## ⑥他交通機関等との連携強化に関する調査

### 調査の目的

本航路と公共交通等の乗り継ぎにおける利便性、快適性を向上させるため、東三河地区及び伊勢志摩地区の他公共交通との連携及びサイクル&シップライドについて調査・分析する。

### 調査手法

情報収集、現地調査、事例調査及び本年度田原市が実施しているサイクルシップ事業に関するアンケート調査等の組み合わせによる。